

- 問1 佐賀県に位置する吉野ヶ里遺跡は、周囲を深い堀や土塁で囲んだ大規模な環濠集落である。このような集落が造られた当時の社会背景を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2023年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. ナウマン象などの大型の獲物を効率よく捕獲するための罠として、村の周囲に深い溝を掘る必要があった。 | 2. 氷河期が終わり海面の上昇が激しくなったため、集落が水没しないよう高い防波堤を築く必要があった。 | 3. 大陸から仏教が伝来し、その寺院を保護するために宗教的な儀礼として堀を巡らせる必要があった。 | 4. 稲作によって収穫物の蓄えや土地・水をめぐる争いが集落間で発生したため、外敵から守る必要があった。 |
|---|--|--|---|
- 問2 弥生時代における「ムラ同士の争い」は、その後の日本の社会構造にどのような変化をもたらしましたか。当時の社会の流れとして最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. すべての人が平等に食料を分配する仕組みが作られ、身分の差が完全になくなった | 2. 争いを通じて周辺のムラが統合され、クニと呼ばれる強力な政治的まとまりが形成された | 3. 争いを避けるために人々が再び移動生活に戻り、定住する集落が一時的に消滅した | 4. 争いを鎮めるために、各集落が完全に独立したまま交流を断つ鎖国のような状態になった |
|--|---|--|---|
- 問3 西暦57年から16世紀末までの歴史的な出来事をまとめた年表において、3世紀の項目に「倭の女王が魏に使いを送る」という記述があります。この時、女王卑弥呼が中国の王朝と外交関係を結んだ主な背景や目的として最も適切なものはどれですか。 (2019年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 中国で確立されていた律令制度を学び、天皇を中心とした中央集権国家をいち早く形成するため | 2. 仏教を正式な国教として導入するために、大陸から僧侶を招き、寺院建設の支援を受けるため | 3. 鉄資源を独占するために、朝鮮半島南部の任那(加羅)に日本府を設置する許可を得るため | 4. 中国の皇帝から王としての地位を認められることで、国内の統治や周辺諸国との関係を有利に進めるため |
|--|---|--|--|
- 問4 福岡県などで出土した、表面が滑らかで機能的な形をした壺型の土器について、その形状や性質が変化した背景として最も適切なものはどれか。 (2026年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 狩猟や採集を中心とした移動生活に耐えられるよう、衝撃を吸収するためにあえて厚手に作る技術が途絶えたから。 | 2. 大陸から伝わった仏教の影響により、華美な装飾を避けて質素な道具を作ることが社会の決まりとなったから。 | 3. 稲作が普及したことで、収穫した食料の貯蔵や煮炊きといった生活道具としての使いやすさが重視されるようになったから。 | 4. 青銅器や鉄器が普及したことで土器が使われなくなり、儀式用の飾りとしてのみ作られるようになったから。 |
|---|---|---|--|
- 問5 3世紀の中国の歴史書において、邪馬台国の女王卑弥呼が30ほどの小国を従え、倭の王として交流したことが記されている当時の中国の王朝名を答えなさい。 (2023年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1. 秦 | 2. 魏 | 3. 漢 | 4. 隋 |
|------|------|------|------|
- 問6 弥生時代に使用された土器の一般的な特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2026年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|----------------------------------|--|------------------------------------|
| 1. 呪術的な目的から、表面に激しい隆起や複雑な装飾が施されている。 | 2. 赤褐色で文様やかざりが少なく、薄くて硬い性質を持っている。 | 3. ろくろを使用せずに低温で焼かれたため、形が歪んでおり非常に厚くて脆い。 | 4. 表面に縄目の文様が全体に施されており、厚手で黒褐色をしている。 |
|------------------------------------|----------------------------------|--|------------------------------------|
- 問7 3世紀の中国(魏)の歴史書には、当時の日本の様子が記述されています。邪馬台国の女王である卑弥呼が、魏の皇帝から授かった称号と品物の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2023年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------|-------------------|-----------------|------------------|
| 1. 倭王武の称号と、鉄剣 | 2. 親魏倭王の称号と、金印や銅鏡 | 3. 漢委奴国王の称号と、金印 | 4. 征夷大將軍の称号と、刀や鎧 |
|---------------|-------------------|-----------------|------------------|
- 問8 弥生時代に本格的に始まった稲作において、収穫の際に用いられた石包丁の使用方法について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------|-------------------------|------------------------|-----------------------|
| 1. 稲の穂の部分を摘み取るために用いられた | 2. 土を掘り返して苗を植えるために用いられた | 3. 収穫した後の脱穀を行うために用いられた | 4. 稲を根元から刈り取るために用いられた |
|------------------------|-------------------------|------------------------|-----------------------|
- 問9 弥生時代から古墳時代にかけての日本列島において、当時の人々が衣服を仕立てる際に主な原料として用いていたものの組み合わせとして、正しいものを選びなさい。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|--------|---------|------------|
| 1. 綿(木綿)と絹 | 2. 麻と絹 | 3. 絹と羊毛 | 4. 綿(木綿)と麻 |
|------------|--------|---------|------------|
- 問10 3世紀の中国の歴史書『魏志』倭人伝において、女王卑弥呼が統治していたとされる、当時の日本列島の呼称として適切なものはどれですか。 (2017年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|-------|--------|
| 1. 邪馬台国 | 2. 日本 | 3. 倭国 | 4. 高天原 |
|---------|-------|-------|--------|
- 問11 弥生時代の大規模な集落に見られる「環濠集落」について、集落の周囲に深い壕や柵を設けた当時の社会的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 大陸から伝わった最新の建築技術を誇示し、周辺の豪族に対して政治的優位を示すため | 2. 仏教が伝来したことで、寺院を中心とした聖なる空間を俗世間から区別するため | 3. 稲作が普及して蓄えられた食料や土地をめぐる争いが始まり、防御を固める必要があったため | 4. 大規模な洪水や高潮などの自然災害から、住居や高床倉庫が流されるのを防ぐため |
|--|---|---|--|
- 問12 弥生時代に朝鮮半島から稲作が伝来したことで、縄文時代とは異なる社会状況が生まれました。生産力の向上や定住生活に伴って発生した出来事について、適切に説明しているものはどれですか。 (2023年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 仏教が伝来し、各地で大規模な寺院の建設が始まった。 | 2. 狩猟や採集が中心の生活となり、人々は獲物を求めて常に移動し続けた。 | 3. 冠位十二階が定められ、個人の才能や功績に応じて役職が与えられた。 | 4. 収穫した稲の分配や土地の所有をめぐる、むら同士の争いが発生した。 |
|------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
- 問13 古代の倭(日本)の王や諸国の首長が、中国の皇帝へ貢物を送った「朝貢外交」の主な目的を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 中国の皇帝から自らの地位や権威を認められ、国内や周辺諸国に対する統治の正当性を得るため | 2. 中国の王朝を軍事的に支配下に置き、その領土を大陸側へ広げるための足がかりにするため | 3. 中国大陸での戦乱を鎮めるために、日本の強力な軍勢力を提供して外交上の恩を売るため | 4. 中国にある高度な仏教建築の技術を独占的に導入し、日本国内に巨大な寺院を建立するため |
|--|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 稲作によって収穫物の蓄えや土地・水をめぐ る争いが集落間で発生したため、外敵から守 る必要があった。	弥生時代に稲作が始まると、余剰生産物の貯蔵や、稲作に不可欠な水田・用水をめぐって集落 間で利害対立が生じ、戦争が起こるようになりました。吉野ヶ里遺跡に見られる環濠や土塁、 物見櫓は、敵の侵入を防ぎ、村を守るための防御施設として機能していました。
問2	答え 2 争いを通じて周辺のムラが統合され、クニと 呼ばれる強力な政治的まとまりが形成された	土地や水をめぐる争いは、勝利した集落が敗北した集落を吸収・統合するプロセスでもありま した。これにより、複数の「ムラ」が統合されて「クニ」へと大規模化し、その中心に王のよ うな強力な指導者が現れることで、初期の国家形成へとつながっていきました。
問3	答え 4 中国の皇帝から王としての地位を認められる ことで、国内の統治や周辺諸国との関係を有 利に進めるため	当時の倭（日本）は多くの小国が分立し、争いが続いていた時期でした。邪馬台国の女王であ る卑弥呼は、当時の中央アジアから東アジアにかけて強大な勢力を持っていた魏の皇帝に朝貢 し、自らを王として承認（冊封）してもらうことで、その権威を背景に国内の連合体制を強化 しようと考えました。これは、中国の皇帝を中心とした国際秩序を利用した外交政策の一環で す。
問4	答え 3 稲作が普及したことで、収穫した食料の貯蔵 や煮炊きといった生活道具としての使いやす さが重視されるようになったから。	弥生時代には本格的な稲作が始まり、収穫した穀物を保存するための「壺」や、煮炊きのため の「甕（かめ）」、盛り付けのための「高杯（たかつき）」など、用途に応じた器が作られま した。そのため、縄文土器のような装飾性よりも、薄くて軽く、用途に適した機能的な形状へ と進化したします。
問5	答え 2 魏	3世紀前半の日本（倭）の様子を伝える『魏志倭人伝』は、中国の三国時代における王朝の一 つである「魏」の歴史書です。この書物には、邪馬台国の卑弥呼が魏に使いを送り、皇帝から 「親魏倭王」の称号や金印、銅鏡などを授かったことが詳しく記されています。選択肢にある 漢は紀元前後の、隋は6世紀末からの王朝であり、時代が異なります。
問6	答え 2 赤褐色で文様やかざりが少なく、薄くて硬い 性質を持っている。	弥生土器は、縄文土器に比べて高い温度で焼かれるようになったため、薄くて硬いという特徴 を持ちます。縄文土器に見られるような激しい装飾や複雑な文様は少なくなり、機能性を重視 したシンプルな作りが特徴です。
問7	答え 2 親魏倭王の称号と、金印や銅鏡	中国の歴史書（魏志倭人伝）によると、3世紀に邪馬台国の卑弥呼が魏へ使いを送り、朝貢を 行いました。その際、魏の皇帝から「親魏倭王」という称号とともに、その証となる金印や10 0枚の銅鏡などの返礼品を授けられたと記されています。なお、1世紀（紀元57年）に後漢の 光武帝から金印を授かったのは奴国の王であり、混同しないよう注意が必要です。
問8	答え 1 稲の穂の部分を摘み取るために用いられた	弥生時代前期の収穫方法である「穂首刈り」に関する問いです。当時は稲が実る時期が一定で はなかったため、実った稲の穂だけをつづつ石包丁で摘み取っていました。根元から刈り取 る方式は、後に鉄製の鎌が普及するまで一般的ではありませんでした。
問9	答え 2 麻と絹	古代の日本における衣料原料は、植物から作られる麻や、蚕の繭から作られる絹が中心でした 。現在、衣類に広く使われている綿（木綿）の栽培が大陸から伝わり、日本で一般的に普及す るのは戦国時代から江戸時代にかけての後世のことであるため、弥生時代や古墳時代の選択肢 としては不適切です。
問10	答え 3 倭国	中国の歴史書では、当時の日本列島やそこに住む人々を「倭」と呼び、その国々を指して「倭 国」と表現しました。卑弥呼が都を置いた具体的な場所は「邪馬台国」と記されていますが、 日本列島の勢力を総称する当時の呼び名としては「倭国」が用いられています。
問11	答え 3 稲作が普及して蓄えられた食料や土地をめぐ る争いが始まり、防御を固める必要があった ため	縄文時代にはあまり見られなかった集落同士の争いは、弥生時代に入り稲作による余剰生産物 （富）が生まれたことで発生しました。吉野ヶ里遺跡などの調査からは、集落全体を壕や柵で 囲むだけでなく、物見櫓を立てて外敵を監視していた様子も判明しており、当時の社会が非常 に緊張感のある状態にあったことを示しています。
問12	答え 4 収穫した稲の分配や土地の所有をめぐって、 むら同士の争いが発生した。	稲作の開始により、安定した食料生産が可能になり定住が進んだ一方で、水利権や肥沃な土地 、蓄えられた稲をめぐると対立が生まれました。当時の遺跡からは、戦いに備えて集落の周囲に 深い堀を巡らせた「環濠集落」や、木製の武器、矢じりが刺さった人骨などが発見されており 、組織的な紛争があったことが分かります。
問13	答え 1 中国の皇帝から自らの地位や権威を認めても らい、国内や周辺諸国に対する統治の正当性 を得るため	古代の東アジアでは、中国の皇帝を中心とした国際秩序が形成されていました。倭の王たちは 、圧倒的な力を持つ中国の皇帝に貢物を送り（朝貢）、臣下としての称号を受けることで、自 分が正当な支配者であることを国内外に示す材料としました。